

"貧困"原因の診断、及び、解決策の提供

☰ 概要

◆前提・注意点

当アイデアでは子どもの"貧困"の解決を最優先として

保護者のプライバシーへの侵害や、職業選択の自由への侵害、論理的・人権的な多くの問題に目をつむることとする

◆概要

子どもの"貧困"について、真因がどこにあるのかをAIやカウンセラーによって診断し、解決策を提供し行政により半強制で執行する

- ※ 親の性格に問題がある場合だとカウンセラーの方が不快になる恐れがあるのでAIのみで診断する。
執行官も「そういう」親と対面して不愉快になったり情に流されないように機械（ドローンなど）が執り行う。

📄 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

◆詳細

子どもの"貧困"の直接的な原因の第1位は、「保護者が子どもにお金を掛けられない or 掛けていないこと」だが、その原因は多様となっている

- ① 世帯自体が困窮している
 - ② 扶養家族が多い
 - ③ 親・保護者による放置・虐待
 - ④ 子どもが難病や障害を持っており生活に困難がある
- etc...

📄 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

家庭の収入・支出やライフスタイルから真因を特定し、解決策を提示する。
金銭面の問題であれば保護者の協力も得られるだろうが、
子どもに興味がない・虐待するような保護者であれば解決しようと思わないだろう。
その場合は子どもや地域の方の申告により
保護者を強制的にAIによる診断にかけさせ、状況によっては強制執行し解決する

診断の例：

収入が低い？ — yes → 転職斡旋（逃亡などを阻止するため公共事業が良い）
|
└ no → 無駄な支出が多い？ — yes → ライフスタイルの改善（半強制。過度な贅沢品は売却）
|
└ no → 虐待をしている？ — yes → 逮捕（強制）& 隔離
|
└ no → 子どもが難病・障害があり生活が困難 → ……

📄 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

就労支援

：各社会福祉法人による就労相談

生活支援

：NPOなどによる児童養護施設への支援プロジェクト

経済支援

：NPOによる援助・寄付プロジェクトの斡旋

県毎で実施している自治体による支援

子育て費用の社会化

子育て世帯の所得保障

 **有意性**：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

各社会保障の欠点として、“貧困”という理由で強固な強制力を持つ制度が存在しないので、当アイデアとしてAIによる判断で強制的に就職斡旋や、執行できる権限を持つ点で優れている。

保護者自体の問題を排除しない限り、子どもの“貧困”は解決しないと考えている。

 **実現方法**：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

診断AIの開発

執行する体制の整備

全国への相談態勢の施行（全国の公立学校など）

 **課題・障壁**：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

【課題】

1. “貧困”の判断基準
2. 目的の設定、調査、データ収集、分析などの期間、財源

このアイデアの運用の最大の問題として、保護者の人権に対して配慮しておらず、憲法で保障されている範囲を侵している。

また、そのような環境で育った子どもが全うな感性に育つかという点でも疑問がある。

【克服】

1. 判断基準について
ビッグデータを活用して判断基準となるAIの閾値を設定する。
2. 財源について
国家プロジェクトとして立ち上げて財源確保する
3. 法律について
改正する

 **期間・コスト**：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

コストについては制度の整備、法律の改正などが必要となるので判断が難しい。

期間について10年かかってもしリリースが難しいのではないかと。

 **未来像**：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

子どもの“貧困”という、保護者とは切っても切り離せない問題について、保護者側を是正し、まともな生活を過ごさせることができる。

虐待をする保護者などもAIと機械により即刻排除できるようになる。